２０２６年（令和８年）３月８日　日曜日

デーリー東北　１５面　掲載

# 月舘さん（八戸学大3年）宅建士合格

## 同大の学生初 就活、資格生かし

八戸学院大地域経営学科3年の月舘空さん＝八戸市出身＝が、同大の学生として初めて国家資格「宅地建物取引士」に合格した。独学で目標を達成し、「資格を生かして人の役に立ちたい」と社会での活躍を見据える。（上條哲洋）

### 「人の役に立ちたい」

宅地建物取引士は不動産の取引に関する専門知識を持ち、公正な取引が行われるようチェックする役割を担う。重要事項の説明などの独占業務を有するため、不動産業界では欠かせない資格だ。

1年生から資格の取得を考えていた月舘さん。簿記など複数の候補を検討する中で、法律への興味や、将来性、実用性を考えて宅地建物取引士を目標に設定した。

勉強は大学の授業やアルバイトが終わった夜に取り組み、2年生の時は1日1、2時間、3年生になってからは1日4時間を割く日もあった。ゼミで指導を受ける同学科の高須則行学科長もサポートしてくれたという。

昨年10月に青森市の会場で受験し、「例年より難易度が高かった」中で見事合格した。現在は就活中で、「有資格者しかできない仕事もあるので、不動産業界や金融業界で力を発揮できたら」と力を込めた。

宅地建物取引士に合格した月舘空さん

デーリー東北新聞社提供